



## 事業報告シート

事業分野	もの・まち・ <u>くらし</u> ・その他	登録日					
事業名称	防災・減災講演会（県立東播工業高等学校全生徒、教職員対象）						
開催日時	平成19年12月12日（水）AM10:00～12:00	会場：	県立東播工業高等学校 体育館				
ふりがな	（しゃ）ひょうごけんけんちくしかい 本部青年委員会						
活動団体名	（社）兵庫県建築士会 本部青年委員会						
事業の目的	1. 17を忘れない！をスローガンに 全校生徒による地震発生の校内放送→初期対応→避難訓練の後 体育館にて防災・減災講演会を実施した。						
主な事業内容	<p>I・兵庫県企画管理部災害対策課 防災技術参事 城戸 史郎氏より</p> <p>① 挨拶 ② 本年3月末に行われたEディフェンスでの実験の説明 ③ 東播工生による実験への参画に対する謝礼</p> <p>II・（社）兵庫県建築士会青年委員会 藤本により講演を行った。</p> <p>① 阪神淡路大震災による被害状況のビデオ映像 ② パワーポイントを使って以下の事項を説明 大地震によって建物のどこが危険になるか（主に1階が危ない） 大地震によって家具が凶器となる 上記の知識+生活スタイルを考え直すことで減災につながる（自助） 家具の転倒防止を学校、家庭、地域で広げてほしい（共助） ③ Eディフェンスでの各種実験映像と解説 ④ 木造軸組み模型を使って筋交の効用の実験と解説（生徒参加） ⑤ 食器の収納方法について実験と解説（生徒参加）</p>						
事業収支	ひょうご安全の日の助成金を受け実施したので学校側は無料						
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	一般参加	その他	合計
	人数	3	3		841		847
建築士の関り	学校の講師派遣の要請があり、講師2名スタッフ4名が計6名参加						
今後の検討課題	パワーポイントによる説明より震動実験や阪神淡路大震災での被害調査の映像を見ながらの説明の方が食いつきがよい。 参加者による実験は好評である						
連携・協力組織等	県立東播工業高等学校						
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>						
	写真左：木造軸組み模型を使って筋交の効用実験      写真右：講演中の生徒の様子						
ふりがな	ふじもと けいぞう	TEL/FAX	TEL：078-327-0885 FAX：078-327-0887				
事業代表者氏名	（社）兵庫県建築士会青年委員長 藤本桂三	E-mail	<a href="mailto:keizou@silver.ocn.ne.jp">keizou@silver.ocn.ne.jp</a>				
団体所在地	神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2階	URL	<a href="http://www.hyogo-aba.or.jp/">http://www.hyogo-aba.or.jp/</a>				